

# 栽培のしおり

## 【バジル(シソ科)】

ハーブのなかでも人気の高いバジルは、草姿がシソによく似ていて科名に納得できる。葉を一枚一枚よく見ると、くると葉裏に向かってカールした形が独特でチャームング。つややかな葉に触れるとスパイシーな香りを小さな苗のうちからあたりに振りまく。

### 栽培時期

種のまき時は、4月下旬～6月です。

### 栽培のポイント

### 品 種

スイートバジル ブッシュバジル ダークオパール レモンバジル

### 土壌酸性度

### 連作障害

### 元 肥(1米当たり)

### 種まき

発芽にはある程度の温度が必要なので、種蒔きは桜のシーズンが終わったあとの八重桜の咲く頃以降を目安に行う。

苗床ではなく、ポットに直接4～5粒ずつ蒔いて育てても良く育つ。

光を好みますので、覆土は必要ありません。

### 間引き

丈夫な苗を育てるには、発芽後の間引きが肝心です。田揃った芽の葉が触れ合うくらいに育ったら、太くしっかりした芽を残すように、何回かに分けて間引いていきます。

最終的に、ポットの場合は一つに一株、プランターや直植えの場合は株と株の間が10～15センチ間隔になるようにします。ポット苗は、本葉が10枚くらいになり遅霜の心配がなくなったら定植できます。

### 植付け

本葉10～12枚程度か、または鉢穴から白い根が見えてきたら定植する。

適度な湿度のある肥沃な場所がよい。株間は20～30cm程度とる。

定植の際に植え穴に牛糞堆肥を1リットルと化成肥料を入れて土をかけ、この上に植え付けると大株に育つ。

### 発芽日数

適温であれば2～3日くらいで発芽します。

給水は腰水(容器に水を張り、そこに鉢を浸けて鉢の底から水を吸わせる給水方法)で。

### 追 肥(1米当たり)

追肥として月1回～2回程度液体肥料の1000倍希釈液を与える。

収穫の後はお礼肥としてチッソ分を多く含む肥料を施すとよい。

### 水やり

水やりは鉢土が乾いてきたら、鉢底から流れ出るまでたっぷりとあげましょう。

庭植えの場合、通常水やりは不要。ひどく乾燥が続くようなときは我慢させずに水をあげましょう。

### 収 穫

利用毎に随時摘み取る。

ペーストやドライ用にたくさん収穫したい場合は、7月～8月の開花直前に、株元の葉を4～6枚程度残して収穫すると1～1.5ヶ月程度で再び蕾が付き、再収穫できる。

### 栽培実績

品 種(ささささ)

2009/03/18 プランターに種蒔、トンネル掛け

04/11 発芽

04/11 トンネル外し

04/30 ポットに植替え

05/20 鉢に植替え

XX/XX 初物収穫

XX/XX 収穫完了